



プライベートブランド「KIRYO」

本組合は、平成11年に県内の化粧品小売店が集まり設立。全国化粧品小売協同組合連合会（全粧協）のもと、化粧品及び関連商品等の共同購買事業を始め、販売促進事業、教育情報事業を展開している。



群馬県化粧品小売協同組合

◆独自ブランド化粧品

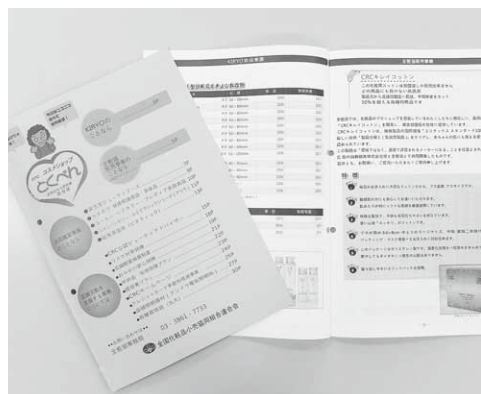
組合員の店舗では、「KIRYO（キリョウ）」という商品が販売されている。この商品は全粧協と資生堂が共同開発し誕生した。リンゴ果実から抽出した植物循環水と野花のエキスという肌に良い自然の成分が活用されており、組合員のみが扱えるプライベートブランド商品。高品質でお手頃価格なため、お客様の好評を得ている。

◆組織力でメリットを享受

全粧協には全国の都道府県化粧品組合が加入しており、傘下の店舗数は約6000店。組織力のメリットを最大限に活かすため、全粧協で共同事業を構築し、各県組合がそれぞれ事業を利用している。こうした各種事業を紹介するため「とくとく便利帳」という冊子が配布されており、コットンや店頭照明機材などの消耗品他、クレジットカード手数料低減事業などが紹介されており、店舗経営の活性化に役立っている。

この他、全粧協が化粧品メーカーとタイアップして行う「店頭装飾コンクール」や「美容食品販売コンテスト」など各種イベントが開催されており、組合員はこうした

イベントに参加しながら店舗運営の活性化と販売拡大に努めている。



とくとく便利帳

◆化粧品専門店支援策

今年から店舗の紹介を行える「キレイエ」というサイトが全粧協のホームページ内に用意された。組合員は、共通の入力フォームを使って、自由に店舗紹介やイベント告知などの情報発信をタイムリーに行い、集客力の向上を図っている。

こぼれ話

組合設立以来理事長を務める関口俊雄氏のお孫さんは、幼い頃より宝塚の舞台に立ち演じてみたいという夢を叶え、タカラジェンヌとなり、雪組で「瀬南海はや」として舞台上に立っています。舞台メイクについては、色々と楽しみながら研究しているとのこと。今後、益々の活躍が楽しみです。

組合の概要

- 所在地 前橋市千代田町2-11-4
- 代表理事 関口俊雄
- 出資金 1,800,000円
- 組合員数 94名
- 主な事業 共同購買事業、共同宣伝・販売促進事業
- 成立年月日 平成11年1月12日
- ホームページ <http://www.cosme.or.jp> (全粧協)

また、一定の知識・技術を持った販売員を化粧品専門店のプロとして、全粧協が認定する「ビューティーアドバイザー制度」がある。組合員は、この制度を活用し、化粧品に関する豊富な知識の習得や接客のスキルアップを目指すなど、顧客満足を高め、ドラッグストアやWebショッピングとは違い、専門店として「ひと」を介して丁寧に価値を伝える経営を実践している。